

フォローアップ会合ワークショップ、大盛りトーク参加者から出された「これからのESDの取組について」のキーワード

大項目(重点取組など)	ワークまとめキーワード(数字がついたものはえんたくん記述)
①地域の姿	・共通価値を創造することが大事。
	・共有の価値を見つける。
	→「持続性」とは何かを幼い頃から教えるくせをつける。
	ミッションの共有
	ビジョン
	フューチャーセッション
	「岡山市民の日」岡山市のいいところを伝える。
	未来のための人づくり
	グローバルとローカルな課題を考える場が必要
	・大人も子どもも同じ目線で対話。
②ユース・人材	・色々な人が関わる。
	・「体験」の機会を作る。
	・人材育成→若い世代(次世代)への継承→×育成。
	人材発掘
	・コーディネートする人、窓口。
	・シニアがリーダーになるライフスタイルの確立。
	ファシリテーションの技術(専門性)
	グローバルな視点(専門性)
	ICT活用
	自分事
	行政職員も学ぶ
	リーダー
	「RCE」コーディネーター、ノウハウ。
	・若者もフラットに話せる環境があればリーダーは自然に育つのではないか。
	インターン
	大学の窓口
	若者
	留学生
	・参加するメリット→ESDインターン、入試に有利。
	インターン
	イノベーション
	就職
	音楽
	流行
	・実践→学び→持続可能性、続ける。
	自主性
	課題発見

遊びの要素
わからないをチャンスに
芸術から
得意分野からモチベーション
成功体験
・年輩の方からの知恵を伝える活動。
知恵の継承
世代間交流
デザイン
若者らしい関わり方
・ESDYouthマークを作る。
・カッコいい&楽しい
・ブランド化、流行に。
興味あることから
場づくり・集う場
学ぶ場・交流の場
押しつけない
(公民館)ESDをツールに利用者を募る。
・年配の方と子どもが交流できる機会の提供。Ex)昔あそび、など。
・興味のある事×ESDを公民館で伝える。
高齢者
地域課題の把握
公民館拠点
NPO-学校連携
・小さいときから親子で楽しく関われる「きっかけづくり」。
・身近なSDに取りくむ。→世界につながる！
原体験が重要
地域から
・学校と公民館の連携が必要。
→地域学⇔学校での学び。
・地域と学校をつなぐ。テーマと人。(高校も！)
・地域の町内会、学校の連携。
「地域とつながりたい」⇔「大学、企業、学校とつながりたい」
コーディネートの場。もっと窓口を設ける必要がある。
地域-学校連携
コーディネート
専門家との連携
グローバル課題
アート

③地域

	公民館(名前がダサイ)→ESDセンターに改名！→真に市民のものに！
④学校	NPOと学校の連携強化
	(学校)ESDを教科にする。小学校と高校など異校種連。
	学校
	高校ユネスコスクールネットワーク
	教員の学習・参加
	子どもたちは、外で発表することで育つ。
	学校・子どもから
	教育者の教育
	座学だけでなく全科目の中にESD的要素！
	・学校に取り入れる。
	・義務教育の段階で地域に根ざした学習→いつか帰ってきたくなるよう、郷土愛を育ませる。
	・地域や自然を愛する学び。「すき」→「大切」科目横断
	学校
	受験にメリット
⑤優良事例	・PR、好事例。
	・ESD企業からの発信！市民がおうえんするしくみ。
	・自治体、イロイロが事例の紹介、提供。
	実践の共有
	ESDアワード
⑥活動拡大	環境学習センターアスエコの活用
⑦企業	・情報をつかまえる、出す。
	・ESDを使って収益化。
	・企業ブランディングとESDと結びつけて親近感をもってもらう。
	障害者の社会参画
	従業員対象
	社員研修
	働く世代の参加
	・市民団体の活動に中小企業のリスクヘッジのノウハウを入れる。
	・企業メリット×市民活動。
	・企業をコミュニティの呼んでもらう。
	コミュニティと企業
	学校と企業の連携
	地産地消
	地域活性化
	生物多様性
	専門性の活用
	技術力
	トレーサビリティ

	企業
	社会貢献の価値付け
	・企業の連携。
	資金提供
	CSV
	ブランドカ
	どんぐりポイント
	環境教育促進法
	賢い消費行動
	フェアトレード
	持続可能な生産と消費
	フェアトレード 社員が価値を学ぶことで消費につながる商品あり。
	・みなさんが幸せに生きていく為に、みなさんに給料を払う企業を豊かに存続させる。
	・企業と地域は一体である(海外も含む)。共に輝く道を創る！Win Winをめざす！
	・企業の役割分担を明確にする。岡山を発展させよう、企業も発展。
⑧国内外交流	具体例を大切に(共通課題)→自治体、学校、企業、NGO、メディア(情報発信)
	近隣自治体との連携
	「海外との連携」 つながる可能性(国内、国外)
	☆当たり前が当たり前じゃない！(海外)
	海外連携
	海外展開
	世界文化
	国内連携
	姉妹都市
	RCE連携
	テーマを絞った世界会議・交流の継続
	英語・コミュニケーション
	課題別連携
	海外研修
	・連携はムリやりつくるのではなく、同じいしきをもつ人との自然なコミュニケーションから成り立つ！
	人材バンク
	・もっと情報発信が必要。
	情報発信
	・ESDのINDEX。
	・知る機会。
	メディアの活用
	社会参画
	・組織の社会連携。
異業種交流	

その他

・市や県からの指示、提案をまつのではなく、市民自身から発信する！
グローバルと地域の課題の共有
身につけるべき力①身近な社会、自然から考える。②自分で考える。③行動する。
ESD(E→Ecoだけじゃないよ！)
岡山＝「環境」
グローバルな課題
環境と国際理解から広げることがわかりやすい。
・ESDとは人が幸せになる手段。
・ESDって何？わかるために、、、。
・広がり。
・ESDを難しく考えない。
多様性
ESD…手段はいろいろある。
総合
・愛、信頼、仲間意識が大切。
・多様な統合(違いの中に共通点)。
・言葉をこえた全世界共通の統一感。
・ネットワーク→個人。
コミュニケーション
学校から社会人までの一貫性
国際会議参加者が伝えていくことが必要
変革を楽しむ教育